

市民サービス向上に向けた効率化と簡素化を

高山市議会公明党
山腰 恵一



問 押印が必要な国・県と連動せざるを得ない文書や市独自の文書は何件あるか。さらに、市民サービス向上に向けて押印廃止の考えは。また、各種手続きにおいて類似の書類を複数記入しなければならない場合がある。市民の負担軽減において書類の一本化など簡素化をする考えは。

答 市民が手続きに必要な文書は、国・県は約700件、市独自で約1,400件である。市独自分は、国の方針を参考に可能な限り押印廃止できるよう見直しを進める。また、市独自で定められている申請等の様式においては申請が容易になるよう簡素化を図る。



民間の大学設立構想に対する協力は

高山市議会公明党
中 箴 博之



問 地域の人材輩出という「出口」にもつながる民間の大学設立構想に対し、飛騨市をはじめ白川村や下呂市も設立準備委員会に参画しているが、この1年間市としてどんな検討をされてきたのか。

答 民設民営の大学設立に市が積極的に加わっていくことについて懸念があり、設立準備委員会への参画はお断りしたが、高山市内に同大学のサテライトキャンパス設置という話もあり、協力を惜しむものではなく、大学連携センターとも連携していただくようコーディネートしていきたい。



谷澤政司議員に議員辞職勧告を決議

谷澤議員は、昨年10月24日に窃盗の容疑で逮捕され、11月13日に高山区検察庁が高山簡易裁判所に略式起訴、同裁判所から罰金の略式命令を受けました。市議会では、昨年11月30日に開催された12月定例会初日、谷澤政司議員に対する議員辞職勧告決議を全会一致で可決しました。

我々高山市議会議員は、市民から負託を受けた者として、その立場と職責の重さを深く自覚し、法令、条例を遵守し、高い倫理観と見識をもって、市政の発展と住民福祉の向上に努めなければならない。

高山市議会基本条例第21条では、議員は一部の地域や団体の代表にとどまらない市民の代表であるとともに、市の団体意思を表明するために議決事項を決定する機関の構成員であることを深く認識し、公正、誠実、清廉を基本とした厳しい倫理意識に徹して活動しなければならないとしている。

しかしながら、谷澤政司議員は、令和2年10月24日に窃盗の容疑で現行犯逮捕され、罰金の略式命令が出されたことは紛れもない事実であり、このことは、高山市議会基本条例及び高山市議会議員政治倫理規則に明らかに違反する行為である。これまでの谷澤政司議員の度重なる問題行動も含め、この度の不祥事は、市民の範として法令等の遵守が求められる市議会議員の職にありながら、規範意識の欠如した行為であり、高山市並びに高山市議会に対する市民の信頼を著しく失墜させたことは断じて許されるものではない。

よって、谷澤政司議員は、公職である市議会議員として政治的、道義的責任を免れず、議員職にとどまることは、市民感情からしても許されるものではなく、事態の重大さを真摯に受け止め、直ちにその職を辞することを勧告する。

以上決議する。

令和2年 11月30日 高山市議会